



**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことの  
ために  
手を取りあおう

2025-26年度  
国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツツォ  
第2600地区ガバナー 小林 磨史



【事務局】〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F  
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002 <http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>  
《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30 《例会場》上田東急REIホテル 2F 《創立》1997年2月18日

- 会長 合原 亮一 ● 幹事 斉藤 仁 ● 出席・会報・ニコBOX委員長 水野 康雄 ● 副委員長 宮原 宏一
- 委員 青柳 淳一・川島 隆教・北村 久文・小林 善久・胡桃沢 拓也・松澤 一志・西澤 尚夫・清水 一典

## 例会日誌



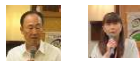
- 司 会 斉藤 仁君
- 点 鐘 合原 亮一君
- R ソング 「国歌斉唱」 「我らの生業」
- ゲスト 長野大学ローターアクトクラブ
- 幹 事 小野寺 竜 様
- 会長エレクト 五十嵐大晴 様
- 次期幹事 島田 勇介 様
- 次期幹事補佐 山田 陽佑 様



- 慶祝
- 誕生日祝 飯島俊勝君
- 斉藤 仁君
- 宮原宏一君
- 創立記念祝
- (株)マップエレクトロニクス 山崎芳雄君



- 委員会報告
- 「ポリオとアリオ出展について」
- 吉田 穰君 斉藤恵理子君
- ※7/30(木)アリオイベントです。ご参加の程  
お願いいたします。
- 「(株)KMK グラスマーカー」紹介
- 川島隆教君



ただきました。田の残りの部分に、先週金曜にコシヒカリの苗を植えました。こちらの収穫は、こども食堂の支援に使われます。もう少し手直しなどしますが、秋の稲刈りを楽しみにしたいと思っています。稲刈りにも大勢ご参加ください。

また、一昨日の日曜日は、山崎ガバナー補佐の下、上田六文銭ロータリークラブが幹事となって、東信5クラブ合同ゴルフコンペが立科ゴルフ倶楽部で開催されました。12組47名と、私の予想以上の方々が参加してくださり、盛大に催すことができました。わが六文銭からも10名参加して盛り上げてくれました。戸堀君、清水君、宮澤君、水野君など、当日の運営をお手伝いいただいた皆さん、ありがとうございました。私は予定通り栄えあるブービーメーカー賞をいただきました。そしてクラブ対抗戦では、なんとわが六文銭ロータリークラブが優勝することができました。クラブ対抗は、各クラブ上位3名のスコアで決まりますが、宮澤君、西澤君、吉田君の3名の成績で優勝できました。また個人戦でも宮澤君が2位を獲得し、西澤君が6位六文銭賞、吉田君が10位賞を受賞するなど皆さん優秀な成績を収めてくださいました。祝勝会も持つことができ、楽しませてもらいました。次の機会にもぜひ多くの皆さんにご参加いただきたいと思いますので、よろしく願います。

行事と言えば、今月台湾で国際ロータリーの国際大会があります。私も参加したかったのですが、私も主催者の1人のソーラーシェアリングのイベントが同じ日程で京都で予定されていて、残念ながらその日は京都にいなければなりません。国際大会への参加は次の機会になってしまいました。参加される皆さんはぜひ楽しんで参加していただき、大会の様子をまたご報告いただきたいと思います。

## 会長挨拶



合原 亮一君



2025-26 年度も最後の月になりました。私の会長の任期もあと1ヵ月ということになります。ここまで何とかやってこれたのも会員の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。また引き続き残り1ヵ月もよろしくお願いいたします。5月24日に、子供たちと田植えをしました。今日も来てくれている長野大学ローターアクトの皆さんも協力してくださり、大変戦力になってい



# 幹事報告

齊藤 仁君

## 1. 上田東急 REI ホテルより

・当館 外壁工事日程と仮設喫煙所のお知らせ

# 出席・会報・ニコ BOX



川島 隆教君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	22	4	0	81.82%
前々回	12	4	3	91.67%

- 合原亮一君 田植えの進行が今一つですが会長任期はあと一か月となりました。
- 齊藤 仁君 ローターアクトの皆様ようこそ。本日もよろしくお祈りします。
- 山崎芳雄君 長大 RAC の皆さんよろしくお祈りします。
- 中澤信敏君 長野大学ローターアクトの皆さん今日はよろしくお祈りいたします。
- 吉田 穰君 5 クラブ合同ゴルフコンペお疲れ様でした。
- 西澤尚夫君 長大ローターアクトの皆さんようこそ。
- 齊藤恵理子君 アクトの皆さんおつかれ様です。例会を楽しんで下さい。
- 水野泰雄君 水無月スタート！今年度も残す所一か月です。長野大学ローターアクトの皆さんようこそ。
- 川島隆教君 ローターアクトのみなさん本日はよろしくお祈りします。

- 肥田野秀知君 笠原 一洋君 飯島 俊勝君
- 松澤 一志君 清水 一典君 小林 善久君
- 青柳 淳一君

ニコニコ BOX 喜投額 6/2	19,000 円
今年度累計	722,000 円 120% (予算目標 60 万)

# 長大アクト来訪



長野大学ローターアクトクラブは、長野大学生約 50 名で構成された組織です。学部学年も多岐にわたり、多様な主体が参加する組織です。クラブ

スローガンは「いけよ、やれよ」です。これには、学生が活動の場へ足を運ぶこと、あるいは初めて何かに挑戦するという決断には大きな価値があり、それを最大限に尊重したいという意味が込められています。

私たちは 2025 年 2 月にカンボジアの大学への図書寄贈や「Future Light Organization(児童福祉施設)」での交流活動などを皮切りに、2025 年 8 月には地方の小学校での交流活動、2026 年 2 月には現地大学生と共同で地方小中学校での言語交流レクリエーションを行うなど、主に国際交流活動を段階的に進めてまいりました。このような活動を展開できましたのも、ロータリアンの皆様の多大なるご支援あってのことです。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

4 月 22 日(水)、上田商工会議所にてチャーターナイトが開催され、学生は約 30 名、ロータリアンの約 60 名の方々にご参加いただき、正式に当クラブが認証されたということに学生一同強く実感いたしました。皆様との交流を通してローターアクターとしての自覚を新たにすることができました。特に六文銭ロータリークラブの皆様には開催に際し多大なるご協力をいただき、この場をお借りして心から感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

今後のクラブ活動について、私たちは国際交流活動と国内交流活動の二足のわらじで活動を進めていきたいと考えております。ただ闇雲に行うのではなく、参加した学生が段階的に成長し、かつ奉仕として確かなインパクトを残していくための指針として打ち出したのが「4 段階のフェーズ」理論です。

フェーズ 1 は「広げちゃいましょうか、視野」。現地での交流や現地での生活を通して奉仕の現場を知り、初めて経験することで価値観を揺さぶり、視野を広げる段階です。フェーズ 2 は「やってみましょうか、とりあえず」。レクリエーション活動の企画・実施や、既存ボランティアへの参加を通じ、積極的に経験を積む段階です。フェーズ 3 は「捉えなおしましょうか、本質」。得られた経験や知見を活かし、現場で真に求められているニーズを把握したうえで、自分たちにできることは何かを考え、自己満足で終わらない活動を立案する段階です。フェーズ 4 は「繋げちゃいましょうか、点と点」。フェーズ 1~3 を通して得た経験や人脈などの点と点をつなげ、自分で活動を企画・計画・実施できるようになる段階です。

今説明したロジックに当てはめながら地域交流活動の現在地と方針についてご説明します。

まずは地域交流活動についてお話しします。私たちは現在、地域交流についてはゼロイチの段階で、今まさに例会に参加させていただいたり、他の RAC の活動を知ることによって視野を広げようとしています。

次のステップとして、積極的にロータリークラブやローターアクトクラブの地域奉仕などの活動に取り組み、経験を積み、主体的な姿勢を養います。

さらにフェーズ 3 で、何度か活動をして見えてくる地域の課題や潜在的なニーズを把握し、当クラブとして何が出来るかを考えます。そして、考えたことを形にし、実践するのがフェーズ 4 です。

ですので、具体的にこれから行うことは、まず例会参加や奉仕活動を通してロータリーを知り、奉仕の先輩方に組織運営や計画の立て方などについてご指導いただきたいです。また、今後当クラブから計画提案や活動報告を行うので、それを通して当クラブを知っていただき、ご指摘や応援をいただけたらと思います。まだまだゼロイチですので、初めて当クラブに触れる関係者が我々のこれからを知るきっかけのフェーズにしたいと考えています。

国際交流におきましては、これまで児童福祉施設でのボランティアやプノンペン教員養成大学や国立プノンペン大学日本語学科への図書寄贈を皮切りに、リリーカメダやクメールビバレッジといった現地有力企業の工場見学などを行ってまいりました。その過程で、境遇に負けず元気に学び遊ぶ子どもたちの姿や、インフラ・教育の格差といった異日常の光景を目の当たりにし、日本との生活や価値観の違いを肌で感じるなど、視野が広がる体験をいたしました。学生は私費で渡航費を工面し、自己投資することでこのような体験がさらに濃厚でやりがいのあるものとなっていると実感しています。これをフェーズ 1 と位置づけています。

フェーズ 2 に相当する活動は、ケップ地方のウドンミンチェン小中学校へのパソコン寄贈や、現地大学生らと共同で企画・実施した言語交流レクリエーションです。共通言語が英語しかない中で、自ら現場に飛び込み、挑戦と試行錯誤を重ねながら活動をより良いものにしようとする経験の重要性を学びました。

今後は、一時的に達成感を共有できるレクリエーションのような活動と、図書やパソコンの寄贈のように、私たちが現地にいなくても持続的なインパクトを残せる支援の両立が必要であると考えます。現在は、これまでの交流活動に加え、現地

校から要望のあったウドンミンチェン高校での交流活動、また児童福祉施設での子ども食堂・食糧支援、ピザ窯作り、などを構想しております。より意義のある活動とするため、今後は交流活動と並行して実情把握のためのヒアリングを行い、企業との調整、予算の確認などが必要であると考えられます。さらに、渡航前に事前オンラインミーティングを現地学生と行いたいと考えております。

既に把握しているニーズをもとにした長期的な構想もあります。前回の 2 月渡航時にウドンミンチェン高校を訪れた際、ぜひ日本人の謙虚さや礼儀正しさを高校生に伝えられるプロジェクトをしてほしいと要望がありました。しっかりこの要望に応えるために、8 月ただレクリエーションをやるだけではなくニーズの把握を意識したものにする予定です。帰国後に次期活動の立案および詳細設計を進め、2 月の渡航の際に構想した現地活動を展開いたします。三月以降には年間の活動を振り返り、次年度への引き継ぎを行います。このようなサイクルを通して、フェーズ 3、フェーズ 4 の実現を目指し、自己満足で終わらない奉仕を実現したいと考えております。

最後になりますが、長野大学ローターアクトクラブは、多様な学生が新しいことに挑戦するきっかけの場であることを目指します。フェーズの進行度に優劣はなく、むしろ各フェーズの学生が混在し相乗効果を生み出せる姿が理想的です。まだ発足したばかりで至らぬ点が多いですが、応援のほどよろしく願いいたします。

## 5 クラブ合同ゴルフコンペ

5/31(日)立科ゴルフクラブ・当クラブホストにて開催。参加者の皆様おつかれさまでした。



個人優勝された西クラブ 小崎正道様には山崎ガバナー補佐様が提供くださったクリスタル盾とワインが贈呈されました。

## 6 月 16 日例会予定

副会長の日 (年間総括)